

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 青年期と社会参画 【知識及び技能】 宗教・思想・伝統文化と社会との関わり 【知識及び技能】 自らの体験から他者との公共的関わりについて知る。【自分】の大切さ、他者の大切さ、多様性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ジェンダー問題【心の複雑さ】「日本と世界の思想・考え方」等、様々な生き方・考え方を理解したうえで自らの考えを構築する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分とは違う考えを尊重する。違いを差別ととらえることのない、多様性を尊重できる人間性、考え方を身につける。	・私たちの生きる現代社会 ・青年期特有の課題 ・日本の思想・宗教について考える ・ジェンダー問題を考察する ・日本の伝統文化と世界の文化の特徴を知る ・現代に生きるギリシャ思想 ・何が公平で何が正義か？「正しさ」を判断する	【知識・技能】 21世紀の現代社会が直面する課題を大まかに知る。日本の伝統的考え方、西洋・中国思想を知り解決の手掛かりとなる知識を把握する。 【思考・判断・表現】 青年期の課題を知ったうえで多様な考え方から何が適切か判断し、自分の言葉で表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 新聞やニュースから自らが興味・関心を持てる課題を見つけ出し、深く知る過程を通じて進路意識の深まりが促されているか	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	単元 社会のしくみと憲法の考え方 【知識及び技能】 憲法の役割と意義 【知識及び技能】 憲法の中で幸福・正義・公正の憲法の基本がどう具体的に実現しているかを考える 【思考力、判断力、表現力等】 平等や自由が必ずしも実現できていない社会問題を理解したうえで改善方法を考える主眼とする 【学びに向かう力、人間性等】 ジェンダー問題、不公正な問題の中で法律をどう適用し解決していくべきか問題意識を持ち続ける姿勢が育っているか	・立憲主義の原理と広がり ・憲法的重要性 ・人権概念の変遷理解、広がりゆく人権 ・法律の役割と改善の重要性 ・日常生活にかかわる法律、契約、権利、義務。	【知識・技能】 憲法の成立過程と重要性を適切に理解しているか。法律の役割とルールの重要性を知ること 【思考・判断・表現】 日常生活の中で深く浸透している常識を裏付けている法律の役割に気づく、改善点を見つけ出し課題を主眼とする。 【主体的に学習に取り組む態度】 法律を基盤とし、法律の範囲内で自らの判断基準を考え改善していく姿勢が育っているか	○	○	○	13
定期考査				○	○	○	1
2 学 期	単元 民主社会と政治参画 【知識及び技能】 国際政治と日本の立場 【知識及び技能】 日本の民主政治の歴史的・社会的背景を理解し、基本的な政治知識を深める。主権者として必要な政治への関心を理解 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治システム（欧米・アジア諸国）を比較し、その特徴を認識し、他国を尊重したうえで日本の政治の改善点を考察、主張する力 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の中で日本の役割を理解し貢献しようという視点が身についているか	・政治権力の役割と重要性 ・権力の分立の重要性と真の民主主義の理解 ・地方政治、地域社会の中での政治の役割 ・これからの日本の安全保障のあり方 ・核兵器と軍縮の重要性 ・国際紛争解決手段としての国連の役割	【知識・技能】 日本の政治システム（議院内閣制）を理解し、他国との比較の中でその役割を理解する 【思考・判断・表現】 他国の政治システムを理解し、その特徴から改善点を考え表現できるか。日本の経済状況を理解し経済大国として国際貢献方法を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 貧困で苦しむ国、政治的に不安定な国の苦しさに思いを巡らし解決のために何ができるか具体的に考え行動する姿勢があるか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	単元 市場経済のしくみ 【知識及び技能】 市場メカニズムの機能、金融の働き、財政活動や租税等、政治と経済とのつながりについて認識し健全な経済社会とは何か考察する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 経済面を中心とする諸資料から自立した健全な経済活動に必要な情報を読み取りまとめる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々の利害が対立する経済・租税対策について、より多くの国民の幸福を実現するための経済活動とは何かを深く学び、貢献しようとする意志が育っているか。	・経済の基本 ・市場メカニズムと公的機関との関わり ・企業の社会的役割 ・金融政策と日本銀行、政治との関係 ・財政政策の推移と政策の予測 ・財政政策の課題	【知識・技能】 市場委の基本的仕組みを理解し、自由主義経済における国家の役割を意識したうえで適切に資料を読み取る力を身につける。 【思考・判断・表現】 金融や日銀、財政の持つ役割を理解したうえで日本の経済状況の課題解決のため改善策を自ら思索・表現できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来、社会で自立した時に備え、家庭経済、租税、金融政策を生活に身近なものとして意識して考えていく姿勢を育てる。	○	○	○	13
定期考査				○	○	○	1
3 学 期	単元 豊かな社会の実現 【知識及び技能】 豊か社会を雇用と労働問題、社会保障、少子高齢化等、日本の社会情勢の変化と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の社会を諸資料から課題を見つけ出しまとめる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 経済成長とともに享受した豊かさが社会情勢の変化によりどう変わったか、どう変えていくかを深く考察する姿勢を育てる。	・産業構造と職業の変化 ・中小企業の課題 ・労働と雇用の変化と課題 ・人口減少社会の雇用の変化	【知識・技能】 労働者の基本的権利、労働三権、女性の社会進出等、社会情勢の変化と労働の関係を理解する。 【思考・判断・表現】 社会保障の重要性と財政負担を考えあわせ、将来雇用や財政をどう運営していくべきかを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 真に豊かな社会を経済面ではなく生活の豊かさや充実感という心の状態を合わせたうえで評価、改善方法を考察してゆく姿勢を身につける。	○	○	○	7
	単元 国際経済の状況と格差の問題 【知識及び技能】 経済のグローバル化とともに国家間の相互依存が深まり他国との円滑な関係の構築の重要性を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の中で日本の置かれた状況を適切に理解し、どうふるまうべきか様々な事実・資料から考察する力。 【学びに向かう力、人間性等】 先進国、経済大国として国際経済・社会に貢献していくようする意欲を育てる。	・経済大国日本 ・戦後の日本経済と発展要因 ・グローバル化への日本経済の対応策 ・自由主義経済下における格差是正 ・増加する社会保障問題への対応策	【知識・技能】 グローバル化と私たちについての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から日本経済の現状を正しく理解すること 【思考・判断・表現】 グローバル化と日本経済の役割を考える。経済大国から少子高齢化を経て「豊かな経済」をどう実現するか様々な方策を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 新興国、途上国に対し国際社会の中で責任ある国としてどう貢献していくか積極的に関わ	○	○	○	7
	定期考査				○	○	○
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教 科： 公民 科 目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 9 組

教科担当者： （1・4・5・6・8組：沼田）（2・3・7組：森川） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ 「最新政治・経済」 実教出版 ）

教科 公民 の目標： 基本的知識を身につけた上で自ら学ぶ姿勢・意欲を育てる

【知 識 及 び 技 能】現代日本・世界の課題を知り調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける

政治・経済・社会問題の意味や課題を理解し、自身の考えを多角的に考察することで現存する課題の解決に

【思考力、判断力、表現力等】向けて

構想したりする力や、考察したりする力、構想したことを効果的に説明したりする態度を養うとともに、その理解を深め、

【学びに向かう力、人間性等】養

される国民・市民としての自覚を持つ。国際社会と日本との関わりについて深く考え、我が国・諸外国の文化

科目 政治・経済 の目標： 社会生活を円滑に過ごす知識を身につけ良き市民・国民として他社に貢献していく態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の日本・様々な国家の政治体制やグローバル経済を理解すること。様々な課題を認識し必要な概念や理論を理解したうえで情報を適切にまとめる技能を身につける。	現代社会にある政治・経済面の課題解決に向け、事実に基づき多面的多角的視点をもって公正に判断できる力を醸成。 社会参画に備えて自分の考えを適切に表現する力をつける。	よりよい社会の実現を目指し、社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 民主政治の基本的な仕組み 【知識及び技能】 様々な政治体制と社会との関わり 日本の政治体制を理解し、諸外国の大統領制、集団指導体制等を理解し、日本政治の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本政治の課題を理解し、自らの判断で投票行動のできる主権者としての能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な政治体制の特徴を理解し、様々な状況を理解したうえで多様な社会を許容する態度を養う。	・ 国家に及ぼす政治の役割 ・ 民主政治の課題 ・ 様々な政治体制 ・ 民主政治実現までの過程を理解する。 ・ 「議院内閣制」と「大統領制」の比較考察。	【知識・技能】 21世紀の政治体制が直面する課題を大まかに知る。民主主義の考え方、諸外国の政治体制を知り解決の手掛かりとなる知識を把握する。 【思考・判断・表現】 政治分野の基本的知識を学んだうえで主権者としての責任を意識できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 新聞やニュースから自らが興味・関心を持てる課題を見つけ出し、深く知る過程を通じて進路意識の深まりが促されているか	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	単元 社会のしくみと憲法の考え方 法律の役割と司法参加 【知識及び技能】 実生活の中で幸福・正義・公正の憲法の基本がどう具体的に実現しているか。主権者として必要な政治への関心を持つ意思が育っているか 【思考力、判断力、表現力等】 平等や自由が必ずしも実現できていない社会問題を理解したうえで改善方法を深く考え主張する 【学びに向かう力、人間性等】 ジェンダー問題、平等な関係の中で法律をどう適用し解決していくべきか問題意識を持ち続ける姿勢が育っているか	・ 立憲主義の原理と広がり ・ 憲法の重要性 ・ 人権概念の変遷理解、広がりゆく人権 ・ 法律の役割と改善の重要性 ・ 日常生活にかかわる法律、契約、権利、義務。 ・ 新しい人権の内容を学び、政治制度、法律面での改善策を探る。	【知識・技能】 憲法の成立過程と重要性を適切に理解しているか。法律の役割とルールの重要性を知ること 【思考・判断・表現】 日常生活の中で深く浸透している常識を裏付けている法律の役割に気づき、改善点を見つけ出し課題を主張する。 【主体的に学習に取り組む態度】 法律を基盤とし、法律の範囲内で自らの判断基準を考え改善してゆく姿勢が育っているか	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	単元 民主社会と国民の政治参加 【知識及び技能】 日本の民主政治の歴史的・社会的背景を理解し、基本的な政治知識を深める。主権者として必要な政治への関心を持つ意思が育っているか 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治システムと欧米・アジア諸国等を比較し、その特徴を理解し、他国を尊重したうえで日本の政治の改善点を考察、主張する力 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の中で日本の役割を理解し貢献しようという視点が身についているか	・ 政治権力の役割と重要性 ・ 権力の分立の重要性と真の民主主義の理解 ・ 地方自治の重要性と政治への住民参加の役割。 ・ 日本の政党政治と政治改革 ・ 公正な裁判の実現	【知識・技能】 日本の政治システム(議院内閣制)を理解し、他国との比較の中でその役割を理解する 【思考・判断・表現】 他国の政治システムを理解し、その特徴から改善点を考え表現できるか、日本の経済状況を理解し経済大国として国際貢献方法を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 貧困で苦しむ国、政治的に不安定な国の苦しさ思いを巡らし解決のために何ができるか具体的に考え行動する姿勢があるか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	単元 現代日本の経済と諸課題 【知識及び技能】 市場委経済の機能、金融の働き、財政活動や租税等、政治と経済とのつながりについて認識し健全な経済社会とは何か考察する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 経済面を中心とする諸資料から自立した健全な経済活動に必要な情報を読み取りまとめる力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々の利害が対立する経済・租税対策について、より多くの国民の幸福を実現するための経済活動とは何かを深く学び、貢献しようとする意思が育っているか。	・ 経済の基本 ・ 市場メカニズムと公的機関との関わり ・ 企業の社会的役割 ・ 金融政策と日本銀行、政治との関係 ・ 財政政策の推移と政策の予測 ・ 財政政策の課題	【知識・技能】 市場委の基本的仕組みを理解し、自由主義経済における国家の役割を意識したうえで適切に資料を読み取る力を身につける。 【思考・判断・表現】 金融や日銀、財政の持つ役割を理解したうえで日本の経済状況の課題解決のため改善策を自ら思索・表現できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来、社会で自立した時に備え、家庭経済、租税、金融政策を生活に身近なものとして意識して考えていく姿勢を育てる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	単元 豊かな社会実現への諸課題 【知識及び技能】 豊かな社会を経済面だけでなく、雇用と労働問題、社会保障、少子高齢化等、日本の社会情勢の変化と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の社会を養う諸資料から課題を見つけ出しまとめる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 経済成長とともに享受した豊かさが社会情勢の変化によりどう変わったか、どう変えていくかを深く考察する姿勢を育てる。	・ 産業構造と職業の変化 ・ 中小企業の課題 ・ 労働と雇用の変化と課題 ・ 人口減少社会の雇用の変化 ・ 持続可能な社会維持のための外国人労働、移民政策等、将来への課題を認識する。	【知識・技能】 労働者の基本的権利、労働三権、女性の社会進出等、社会情勢の変化と労働の関係を理解する。また、環境問題、ジェンダー差別、少子化社会等、様々な課題を理解・認識する。 【思考・判断・表現】 社会保障の重要性と財政負担を考えあわせ、将来雇用や財政をどう運営していくべきかを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 真に豊かな社会を経済面ではなく生活の豊かさや充実感という心の状態を合わせたうえで評価、改善方法を考察してゆく姿勢を身につける。	○	○	○	7
	単元 国際政治・経済の状況と日本の役割 【知識及び技能】 経済のグローバル化とともに国家間の相互依存が高まり他国との円滑な関係の構築の重大性を理解する。その中で日本がどのような役割を担ふかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の中で日本の置かれた状況を適切に理解し、どうふるまうべきか様々な事実・資料から考察する力。 【学びに向かう力、人間性等】 先進国、経済大国として国際経済・社会に貢献していくという意欲を育てる。	・ 経済大国日本 ・ 戦後の日本経済と発展要因 ・ グローバル化への日本経済の対応策 ・ 自由主義経済下における格差是正 ・ 増加する社会保障問題への対応策	【知識・技能】 グローバル化と私たちについての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から日本経済の現状を正しく理解すること。 【思考・判断・表現】 グローバル化と日本経済の役割を考える。経済大国から少子高齢化を経て「豊かな経済」をどう実現するか様々な方策を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 新興国、途上国に対し国際社会の中で責任ある国としてどう貢献していくか積極的に関わる姿勢を育てる。	○	○	○	7
				○	○	○	1
							合計 70

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教 科： 地理歷史 科 目： 世界史探究 單位數： 2 單位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 9 組

教科担当者：（1～9組：山下 学）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（詳說世界史 世界史探究）

使用教材：（最新世界史図説 タペストリー 22訂版）

単元の目標：

【知 識 及 び 技 能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察した

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養

単元の評価規準：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代につながる諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の変化についての意味や意義、特色を、時代やその推移、比較、相互関連、現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用し、多面的多角的に考察したり、歴史の中の諸問題を把握し、解決を視野に入れて構想したり、考	世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、諸問題を主体的に追究、解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 文明の成立と古代文明の特質についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の成立と古代文明の特質についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 文明の成立と古代文明の特質について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係 ・メソポタミア文明 ・エジプト王国 ・シリア・パレスチナ地方の民族 ・クレタ文明とミケーネ文明 ・アッシリアのオリエント統一	【知識・技能】 文明の成立と古代文明の特質についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 文明の成立と古代文明の特質についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文明の成立と古代文明の特質について、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。			○	12
	定期考查			○	○	○	1
	B 単元 アジア諸地域世界の展開 【知識及び技能】 アジア諸地域の展開についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸地域についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア諸地域の展開について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・南アジアの地理的環境 ・インダス文明 ・アーリヤ人の進入 ・殷と周 ・春秋時代と戦国時代 ・秦の特質について ・漢の支配体制の変遷 ・唐の勢力圏とその制度 ・突厥・ウイグルと隋・唐の関係 ・仏教やジャイナ教などの新宗教 ・マウリヤ朝とクシャーナ朝 ・グプタ朝の宗教や文化 ・ヒンドゥー教	【知識・技能】 アジア諸地域の展開についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 アジア諸地域の展開についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア諸地域の展開について、諸問題を主体的に追究解決できる。			○	13
定期考查				○	○	○	1
2 学期	A 単元 西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の国家形成についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の国家形成についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺の国家形成について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・アケメネス朝 ・バルティアとササン朝 ・ポリスの特徴 ・スバルタ ・マケドニア ・ヘレニズム時代 ・ギリシア文明 ・ローマ共和政 ・「ローマの平和」 ・ローマ帝国 ・ローマの文化 ・キリスト教の成立	【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の国家形成についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の国家形成についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと地中海周辺の国家形成について、諸問題を主体的に追究解決することができる。			○	13
	定期考查			○	○	○	1
	B 単元 イスラーム教の成立と伝播、西アジアの動向 【知識及び技能】 イスラーム教の成立と伝播、西アジアの動向についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教の成立と伝播、西アジアの動向についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 イスラーム教の成立と伝播、西アジアの動向について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・イスラーム教の成立 ・ウマイヤ朝とアッバース朝 ・イスラーム文化の成立	【知識・技能】 イスラーム教の成立と伝播、西アジアの動向についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 イスラーム教の成立と伝播、西アジアの動向についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の成立と伝播、西アジアの動向について、諸問題を主体的に追究解決できる。			○	13
定期考查				○	○	○	1
3 学期	A 単元 ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 ヨーロッパ世界の变容と展開についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ世界の变容と展開についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界の变容と展開について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・ビザンツ帝国の繁栄 ・ローマ教会とフランク王国 ・カールの戴冠 ・ノルマン人の歴史的役割 ・封建社会の仕組み ・教皇権の衰退と王権の伸張 ・百年戦争 ・神聖ローマ帝国 ・中世ヨーロッパ文化 ・ローマ＝カトリック教会 ・十字軍の遠征 ・中世の都市	【知識・技能】 ヨーロッパ世界の变容と展開についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパ世界の变容と展開についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ世界の变容と展開について、諸問題を主体的に追究解決できる。			○	7
	定期考查			○	○	○	1
	B 単元 東アジア世界の展開とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・オスマン帝国 ・サファヴィー朝 ・ムガル帝国 ・モンゴル帝国 ・明の国内統治の特徴 ・明の朝貢体制 ・清初の社会・経済・文化 ・満洲人の民族 ・清朝の漢人社会への対応。	【知識・技能】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。 【思考・判断・表現】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄について、諸問題を主体的に追究解決できる。			○	7
定期考查				○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 9 組

教科担当者： (1.2.4.5.7.8.9：細川冬唯) (3.6組：石川憲司)

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合 帝国書院 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性を、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間の相互依存性を、地域などから着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の設図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ②地図や地理情報システムのさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ③地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ④地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・地球上の位置 ・時差 ・地球儀と地図 ・主題図と一般図 ・地理情報システム	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の設図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の設図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・国家とその領域 ・日本の位置とその領域 ・貿易・交通・通信網・観光	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の設図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13
定期考査				○	○		1
2 学 期	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ②世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ③世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ④生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・大地形 ・小地形 ・大気の大循環 ・クワールの気候区分 ・産業と人々の生活	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	①世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指す各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 ②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・地球環境問題 ・資源エネルギー問題 ・人口問題 ・食糧問題 ・都市問題	①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指す各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 ②世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13
定期考査				○	○		1
3 学 期	①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 さまざまな自然災害に対応したゾーンマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技術の身に付ける。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・自然環境と防災 ・日本の自然環境 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したゾーンマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技術の身に付けている。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～5組：俵川）（4～9組：山下）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ 明解歴史総合 帝国書院 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を

科目 歴史総合 の目標： 近現代史について、世界と日本を広く相互的な視野から捉える。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化についての意味や意義、特色を、時代やその推移、比較、相互関連、現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用し、多面的多角的に考察したり、歴史の中の諸問題を把握し、解決を視野に入れて構想したり、考察したことを効果的に説明、議論している。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にいれ、諸問題を主体的に追究、解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	Ⅰ 單元 江戸時代の日本と欧米の近代化 【知識及び技能】 江戸時代の日本と欧米の近代化についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸時代の日本と欧米の近代化についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸時代の日本と欧米の近代化について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・アジアの中の江戸幕府 ・成熟する江戸幕府 ・清の繁栄 ・アジアアフリカに向かうヨーロッパ ・イギリス革命とアメリカ独立 ・フランス革命とその影響 ・産業革命とその影響 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】 江戸時代の日本と欧米の近代化についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 江戸時代の日本と欧米の近代化についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 江戸時代の日本と欧米の近代化について、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	Ⅱ 單元 アジア諸国の動揺と近代化が進む日本 【知識及び技能】 アジア諸国の動揺と近代化が進む日本についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸国の動揺と近代化が進む日本についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア諸国の動揺と近代化が進む日本について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・帝国主義と世界の一体化 ・アジアの植民地化 ・アヘン戦争と黒船来航 ・江戸幕府の滅亡 ・新政府と近代国家を目指す日本 ・日清戦争と日露戦争とその影響 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】 アジア諸国の動揺と近代化が進む日本についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の動揺と近代化が進む日本についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア諸国の動揺と近代化が進む日本について、諸問題を主体的に追究解決できる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	Ⅲ 單元 国際秩序の変化と第一次世界大戦 【知識及び技能】 国際秩序の変化と第一次世界大戦についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化と第一次世界大戦についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化と第一次世界大戦について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・ドイツとバルカン半島の緊張 ・総力戦となった第一次大戦 ・ロシア革命 ・ヴェルサイユ体制の成立 ・民族自決の影響 ・ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ・日本における大衆社会の形成 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】 国際秩序の変化と第一次世界大戦についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 国際秩序の変化と第一次世界大戦についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化と第一次世界大戦について、諸問題を主体的に追究解決することができる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	Ⅳ 單元 日本と第二次世界大戦 【知識及び技能】 日本と第二次世界大戦についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本と第二次世界大戦についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本と第二次世界大戦について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・政党政治と満州事変 ・日中戦争 ・第二次大戦 ・大戦による被害の拡大 ・大戦の結果 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】 日本と第二次世界大戦についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 日本と第二次世界大戦についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本と第二次世界大戦について、諸問題を主体的に追究解決できる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	Ⅷ 単元 第二次世界大戦後の日本と世界 【知識及び技能】 第二次世界大戦後の日本と世界についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦の日本と世界についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・米ソの緊張と緩和 ・冷戦下の日本 ・第三勢力の形成と脱植民地化 ・中東戦争とパレスチナ問題 ・ゆらぐアメリカと先進各国の変化 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】 第二次世界大戦後の日本と世界についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦の日本と世界についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後の日本と世界について、諸問題を主体的に追究解決できる。	○	○	○	7
	Ⅸ 単元 グローバル化と私たち 【知識及び技能】 グローバル化と私たちについての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化と私たちについての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・経済大国日本 ・経済発展にむかうアジア南米 ・イスラム復興と冷戦への影響 ・冷戦の終結 ・グローバル化の影響 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】 グローバル化と私たちについての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】 グローバル化と私たちについての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化と私たちについて、諸問題を主体的に追究解決できる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70